

## 「三宝通信」法話

浄土宗 天上山 大念寺  
住職 大島 祥明



### すべてを縁ととらえて生きる

この人生において、さまざまな出会いがあります。人生とは、出会いそのものとも言えます。私は、出会いというものは、「すべてが大切な“ご縁”」だと思っています。

います。出会った縁のひとつひとつが、その後の生き方に影響を与えていきます。振り返ってみれば、ムダな出会いとか無意味なことは、ひとつもないですね。なかには、損するような、マイナスと思ってしまう縁もありました。けれども、そういう縁こそ逃げないで大切にしてください。私に危害を加えようという人も大切にしようと思ってきました。自分プラスになる人よりも、マイナスになる人、

やっかいな人も大切にしようとしてきました。

不思議なことに、一見やっかいなことが、長い目でみるとかえって“いい縁”だったということが多いです。長い目でみないと、その縁がいいか悪いか、わからない。「うう」とか「悪い」というのは、そのときにはわからないんです。

あんなつらいこと、いやなこと、哀しいことがあったから、自分の傲慢さやいたらなさに気がついた。進路を過たずにすんだということがあります。逆に、いい縁だと喜んで、後からみて失敗のものになったということがあります。

そのように、あらゆる出会いを“縁”ととらえて生きていくと、心穏やかに暮らしていけるようになると思います。

● P H P 研究所刊『死んだらあしまい、ではなかった』より。